平成28年度　日本大学総合科学研究所個人研究費　研究実績報告書

所属：総合科学研究所
資格：教授
氏名：　　高木美也子　印

研究課題		
報告の概要	研究目的及び研究概要	生命倫理に関する問題を取り上げ、それについて日本と世界の比較から、検討している。以前、国内調査を行った腎移植については、他国との比較から更なる検証を行い、研究倫理については、国内外に大きな衝撃を与えたSTAP細胞の不正の検証、不正防止策を考察した。またこれからの医療・薬価をどうしていけば、日本の保険制度は破綻することなく、維持してゆけるかを検討した。
	研究成果	日本における再生医療は世界のトップを走っているが、STAP細胞不正によって世界的な信用は大きく揺らいだ。今後このような事態が起きないようにするための倫理的考察を行った。肺がんの特効薬といわれるオポジーボは年間3500万円かかるが、この度、薬価は半分になった。しかしながら今後、世に出てくる抗体薬はすべて高価である。日本の健康保険制度を維持するために何をすべきなのか考察した。
研究活動 ・雑誌論文 著者名・論文標題・雑誌名		1)Miyako takagi, Benefits and drawbacks of Regenerative Medicine in Japan, Intl. J. of Culture and History, 査読有, vol.1 no.1 pp.39～4 2016 2)高木美也子、腎移植に関する倫理的諸問題と提供腎不足の解決法としての修復腎について－生体腎ドナー、レシピエント、血液透析患者へのアンケート調査より生存科学, 査読有, vol.27 no.1 pp.129～140 2016 3)Miyako takagi, Ethical issues in medical and health care innovation, Eubios Journal of Asian & Int'l Bioethics, 査読有, vol.26 No.6 pp.210～214
・学会発表 発表者名・発表標題学会名・発表年月日・場所		1)高木美也子、研究倫理、徳洲会系病院、2016.3.5、宇治徳洲会病院 2)Miyako takagi, Shotage of kidney Donors in Japan; Crisis and possible Solution, The 23rd Pacific Science Congress, 2016.6.15,Taipei (Taiwan) 3)Miyako takagi, Japanese Patients' Perceptions Regarding Transplantation of Surgically Restored Cancerous Kidneys: Responses to a Questionnaire, PCS 3rd Annual World Congress of Cardiothoracic-Renal Diseases, 2016.11.5Mrrakesh (Morocco) 4)Miyako takagi, Ethical issues in medical and health care innovation, 17th Asian Bioethics Conference, 2016.11.17 Yogyakarta (Indonesia) 5)Miyako takagi, JBA&ABA Joint Sympo."Is Dialogue with Islam Possible? – Bioethics from Religious, Cultural and Political Viewpoints", 第28回日本生命倫理学会年次大会、2016.12.4 大阪大学
・図書 著者名・出版社名・書名・発行年ページ数		村岡洋一、高木美也子他30名、日本教育財団出版局、実践社会学を探る、2016,212 村岡洋一、高木美也子他30名、日本教育財団出版局、実践社会学を創る、2016,214